



京都芸大  
日本画の現在

— カリキユラム —

2013年11月23日[土・祝]—12月8日[日]

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY  
京都市立芸術大学 ギャラリー・アクア [堀川御池ギャラリー内]

# 京都芸大日本画の現在

— カリキュラム —

2013年11月23日[土・祝]—12月8日[日]

午前11時—午後7時(入館午後6時45分まで/月曜休館)  
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA (@KCUA1・@KCUA2)

※11月23日午後4時よりオープニングパーティーを開催いたします。(申込不要)

京都市立芸術大学日本画専攻は1880年の画学校創設以来、その伝統を継続する教育を行い、多くの著名な作家を輩出すると共に、一貫して写生を軸にした基礎教育を行ってきました。日本画専攻は京都市立芸術大学の総合的な研究・教育を担い、自然への共感と対話を通じて豊かな精神を養い、自己研鑽を行うことを目的とし、絵画表現以外の領域でも活躍できる人材を育成し、社会に貢献し続けています。

昨年に引き続き今展では、現在、本学日本画専攻で行われているカリキュラムの中から、カリキュラムの柱となる「地面」と「人体」の中で制作される写生と本画作品を軸に構成し展示致します。

現在、多様な表現と解釈を生み出している「日本画」表現ですが、本学の日本画教育では、この2つの課題「地面」と「人体」により日本画の基礎を集約し学ぶことに最大の特徴があります。特に課題「人体」では、戦後日本画において京都画壇の中心を担ってきた数多くの作家達がさまざまな解釈に基づく制作を行ってきたものであり、日本画における造形を学ぶ上で欠かせないものであるという認識のもと、課題として長年にわたり定着しているものです。

併せて今展では、それらの課題を経過しそれぞれの制作に発展させつつある学部上回生と修士課程、また、そうした日本画制作と共に本学日本画専攻の一翼を担う模写制作から、それぞれの学生作品を陳列致します。本学日本画教育が志向している日本画とはどのようなものであるのか、この機会に、ぜひ、ご覧いただければと思います。



1.



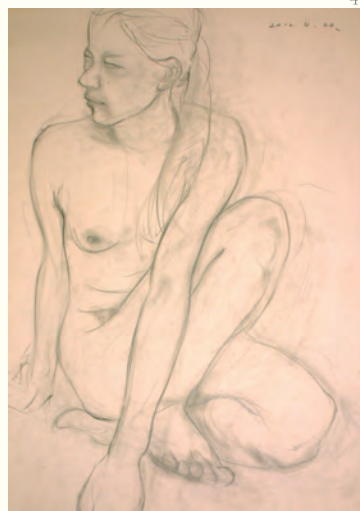
3.



5.



2.



4.



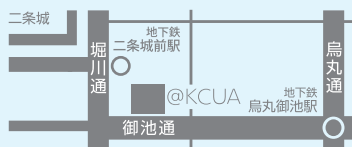
6.

1. 学部2回生作品    3. 学部3回生作品    5. 学部2回生作品  
2. 学部4回生作品    4. 学部4回生作品    6. 大学院1回生作品

主催：京都市立芸術大学日本画研究室

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY  
京都市立芸術大学ギャラリー・アークア [堀川御池ギャラリー内]



地下鉄「二条城前」駅〈2番出口〉徒歩約3分  
市バス「堀川御池」バス停下車すぐ

京都市中京区油小路通御池押油小路町238-1  
〒604-0052 <http://www.kcuu.ac.jp/gallery/>

お問い合わせ 教務学生支援室事業推進担当  
tel.075-334-2204



京都市立芸術大学 HPへ